

会社概要

Corporate Profile

銀一株式会社

- **会社名** 銀一株式会社 (GIN-ICHI CORPORATION) 東京都中央区銀座3丁目11番14号 URL <http://www.ginichi.co.jp/corp>
- **所在地**
 - **映像機材営業部**
(映像機材、デジタルカメラ、中古カメラ、画像関連処理機材の販売・アフターサービス、スタジオ機材、照明機材、写真暗室用品、背景紙など撮影用機材の販売及びレンタル、オンラインショップの運営企画)
〒104-0052 東京都中央区月島1丁目14番9号
 - **スタジオショップ** 電話：03-5548-5131 ファクシミリ：03-5548-5135
 - **レンタル** 電話：03-5548-5132 ファクシミリ：03-5548-5135
 - **オンラインショップ** Mail：onlineshop@ginichi.com
 - **映像機材営業部営業課** (レンタルスタジオ、制作会社、教育機関などへの法人営業及び写真家、映像作家への営業)
〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目11番14号ルート銀座ビル 電話：03-6823-6566 ファクシミリ：03-3541-2445
 - **CO-CO 銀一カメラサロン** (中古クラシックカメラ販売・買取)
〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目11番14号ルート銀座ビル 電話：03-3544-4690 ファクシミリ：03-3544-4691
 - **海外商品部** (輸出入業務及び、輸入品の全国卸販売)
〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目11番14号ルート銀座ビル 電話：03-5550-5036 ファクシミリ：03-3541-2445
 - **物流管理部** (商品の受発注、入出荷在庫管理全般)
〒104-0052 東京都中央区月島1丁目14番9号 電話：03-5548-5611 ファクシミリ：03-5548-5612
 - **本社 管理本部** (総務・経理・システム開発室)
〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目11番14号ルート銀座ビル 電話：03-3541-6636 ファクシミリ：03-3541-2459

● **設 立** 昭和35年4月5日 (創業 昭和31年8月)

● **資本金** 18,000,000 円

● **従業員** 62 名

● **役 員**
 代表取締役 丹羽 寿成
 常務取締役 小川 英智
 取締役 丹羽 智彦

● **事業内容** 映像機材 (写真、動画、ビデオ、映画) の輸入及び販売、映像機材のレンタル、撮影スタジオ及び暗室の設計・施工、デジタル撮影及び DTP システムの販売。

- 米国 セットワークス社 (スタジオサプライ製品) 輸入元・総発売元
- 米国 ティッフェン社 (写真、動画、ビデオ機材) 輸入元・総発売元
- 米国 シンクタンクフォト社 (カメラケース製品) 輸入元・総発売元
- 米国 オプテック社 (カメラストラップ・ポーチ製品) 輸入元・総発売元
- 米国 ビークデザイン社 (カメラアクセサリ) 輸入元・総発売元
- 米国 レンズコート社 (カメラ・レンズアクセサリ) 輸入元・総発売元
- ドイツ クロジール社 (動画、ビデオ機材) 輸入元・総発売元
- 豪州 クランブラー社 (メッセンジャーバッグ及びカメラバッグ製品) 輸入元・総発売元
- 豪州 ロードマイクロフォン社 VID ライン (マイク・音声機材) 輸入元・総発売元
- 豪州 アトモス社 (動画・ビデオ機材) 発売元
- ニュージーランド シロップ社 (動画・ビデオ機材) 輸入元・総発売元
- イスラエル ミゴ社 (カメラアクセサリ) 輸入元・総発売元

セットペーパー、ステディカム等の総発売元

ニコン、キヤノン、ハッセルブラッド、ライカ、ジナー、プロフォト、富士フィルム、コダック他、各種カメラ、ストロボ、

各種感材等特約店、PC 及関連機材取扱、積水化成工業株式会社代理店

● **主な取引先** 朝日新聞社、読売広告社、電通、博報堂、世界文化社、扶桑社、小学館、婦人画報社、日本航空、サントリー、NHK エンタープライズ、フジテレビ、日経 BP 社、花王、松屋、ソニー、日本デザインセンター、アマナ、伊東屋、東京都写真美術館、東京大学、日本大学、東京芸術大学、東京工芸大学、多摩美術大学、日本写真芸術専門学校 他写真学校、ヨドバシカメラ、カメラのキタムラ、ナニワ商会、ビックカメラ、浅沼商会、ビームス、東急ハンズ、スタートトゥデイ、システムファイブ、SAEDA、シュッピン、三越伊勢丹、Too、三友、東京リスマチック、佐川印刷、アマゾンジャパン、スタジオエビス、代官山スタジオ、スタジオフォボス、六本木スタジオ、他 レンタルスタジオ数十社、三好和義氏、白川義員氏、篠山紀信氏、立木義浩氏、渡辺達生氏、上田義彦氏 他 写真家多数

● **主な仕入先** 米国ティッフェン社、米国セットワークス社、米国シンクタンクフォト社、米国オプテック社、豪アトモス社、豪クランブラー社、豪ロード社、ニコイメーキングジャパン、キヤノンマーケティングジャパン、富士フィルムイメーキング、コダック、DNP フォトイメーキングジャパン、積水化成工業、浅沼商会、ダイワボウ情報システム、エプソン販売、モンベル、エイアンドエフ、プロフォト、コメット、サンスターストロボ、ハッセルブラッドジャパン、マンフロット、他 約 300 社

● **主な取引先金融機関**
 三菱東京 UFJ 銀行・・・銀座支店 みずほ銀行・・・銀座支店 商工組合中央金庫・・・本店
 北陸銀行・・・東京支店 三井住友銀行・・・京橋支店 西京信用金庫・・・銀座支店

● **沿 革**
 昭和 31 年 8 月 東京都港区新橋でカメラ機材の販売創業
 昭和 33 年 4 月 銀座 1 丁目に移転、屋号を「銀一カメラサービス」と定め、プロ用写真機材の専門店としてスタート
 昭和 35 年 4 月 株式会社に組織変更、丹羽壽彦 代表取締役に就任
 昭和 44 年 9 月 レンタル部門を独立、株式会社ライクを設立
 昭和 46 年 6 月 ドライマウント部門を独立、株式会社ギンイチを設立
 昭和 47 年 12 月 ハイクラスアマチュアの店「コ・コ」を出店、アマチュアコレクションカメラを取り扱う
 昭和 48 年 1 月 貿易部門を置き、米国、ドイツ、英国と取引開始
 昭和 48 年 9 月 商品センターを港区海岸に設置
 昭和 53 年 3 月 レンタルスタジオへの機材納入と設計、施工を開始
 昭和 58 年 7 月 米国セットワークス社との合併会社、セットワークスジャパン株式会社を中央区入船に設立しセットショップオープン
 昭和 59 年 9 月 資本金を 900 万円に増資
 昭和 60 年 8 月 セットワークスジャパン株式会社 資本金を 7,500 万円に増資
 昭和 62 年 11 月 本社業務を中央区銀座 4 丁目の自社ビルへ移転
 昭和 63 年 2 月 海外商品部を新設 輸入販売代理店として各種照明機材、写真用品の卸販売を本格化
 昭和 63 年 4 月 新社名「銀一株式会社」に商号変更
 平成元年 9 月 資本金を 1,800 万円に増資
 平成 3 年 12 月 プロ用品ショップとカメラ、レンズショップ合併「フォトショップ」としてリニューアルオープン
 平成 11 年 1 月 合併会社、セットワークスジャパン株式会社を中央区月島に移転し、セットショップリニューアルオープン
 平成 11 年 2 月 商品センターを大田区平和島より中央区月島に移転、物流管理部を新設。
 平成 13 年 5 月 デジタルフォトショップをフォトショップ 1F に移転、デジタルシステムの本格化に対応
 平成 14 年 8 月 子会社 株式会社ギンイチを吸収合併、グラフィックス営業部として事業全面継承
 平成 18 年 6 月 本社を中央区銀座 3 丁目の自社ビルに移転
 平成 18 年 9 月 「銀一オンラインショップ」と称し Web 販売を開始
 平成 19 年 3 月 セットワークスジャパン株式会社 (セットショップ) を吸収統合し、スタジオ機材部 (スタジオショップ) として事業全面継承
 平成 19 年 4 月 丹羽壽成 代表取締役に就任
 平成 19 年 9 月 営業課及びレンタルとフォトショップの写真用品類、ストロボ関連品を月島スタジオショップに移転リニューアルオープン
 平成 19 年 11 月 クランブラーの輸入直営店「クランブラーギンザ」を銀座一丁目に出店
 平成 21 年 5 月 銀座店 (フォトショップ) を月島店 (スタジオショップ) に統合し「銀一スタジオショップ」として、顧客ニーズにマッチした「ワン・ストップ・ショップ」を実現
 平成 25 年 11 月 中古カメラ専門店「CO-CO 銀一カメラサロン」を本社 8F にオープン

● **加盟団体**
 東京写真材料商業協同組合 輸入カメラ協会の会 (ICS) 会員 日本映像美術協議会 (JVA) 会員
 日本カメラレンタル協会会員 日本写真映像用品工業会 東京商工会議所
 日本広告写真家協会賛助会員 日本スポーツプレス協会賛助会員